

報告第1号

枚方市景観懇話会での意見について

第1回～第6回 枚方市景観懇話会（開催報告）

枚方市 景観懇話会での意見（まとめ）

1．景観懇話会の検討概要	1
2．景観発掘調査結果	5
3．景観類型区分毎の景観形成方針の検討結果	12
4．モデル地区の景観形成構想の検討結果	18
5．景観改善手法の検討結果	20
6．景観推進アイデアの検討結果	22

枚方市 景観懇話会の開催結果の概要

懇話会	ねらい	開催内容等	検討成果
第1回 (8/25)	景観を知る。	目的：懇話会の立ち上げ、参加者の景観に対する理解を向上する。 内容：・枚方市の景観の現状についての説明（上位計画、景観特性、等） ・景観についての理解の向上：ミニ講演会	
景観発掘	景観資源を探る。	目的：地元地域の景観の確認、再認識 内容：・各自が地元の景観資源を調査 ・写真に納め、第2回懇話会で発表	隠れた資源・課題の発見
第2回 (9/29)	景観資源を持ち寄る。	目的：市域全体を対象に、テーマ別の景観についての認識を共有する。 内容：・各自の発掘調査結果の発表・意見交換 良い所、悪い所の抽出、意見交換（特に良い・悪い） 「景観発掘マップ」「特に良い・悪い景観一覧」	「景観発掘マップ」・・・P5
第3回 (10/27)	景観のあり方を考える。	目的：景観類型別の景観形成の方向性について認識を共有する。 内容：・景観類型別の景観形成のあり方の意見交換 第2回成果を類型別に整理した資料を提示し、意見交換 問題点：相応しくないもの。不要なもの。改善する点、等 目標・方向性：目指すこと。なったらいい景観。望ましい姿。	「景観類型別の問題点」 「景観類型別の目標・方向性」 } ・・・P12
まち歩き会 (11/17:AM)	モデル地区を調査する。	目的：グループ討議の結果を、モデル地区を対象に確認することで議論をより具体化する。 内容：・雨天のため中止（モデル地区の景観スライド上映会に変更） モデル検討のための現地情報の確認、共通認識の形成	
第4回 (11/17:PM)	モデル地区を検討する。	目的：モデル地区を対象とした景観形成の具体的な検討を行う。 内容：・モデル地区の景観特性の整理・分析・評価 「スライド上映」で得た情報を基に、土地利用、地形的特徴、景観資源、眺望、課題、等の条件・特徴に関する意見を抽出・整理 抽出した条件・課題などの意見を踏まえ、景観形成を図る上での重要な資源や特徴的な景観区域等を抽出し、その理由を分析・評価	「モデル地区 景観特性評価総合マップ」・・・P18
第5回 (12/22)		目的：モデル地区を対象とした景観形成の具体的な検討を行う。 内容：・モデル地区の景観形成構想の検討 「モデル地区景観特性評価総合マップ」を基に、事務局で取りまとめた「景観形成構想図（素案）」をもとに、景観形成方針について意見交換 ・景観改善手法の検討 代表的な景観地点を対象に景観改善手法の具体的なアイデアを検討	「モデル地区 景観形成構想図」・・・P19 「景観改善アイデア」(ア行ア集)・・・P20
第6回 (1/26)	景観形成の方策を考える。	目的：景観形成の推進方法を検討する。 内容：・良好な景観形成を実現するための景観形成の推進方策の抽出 景観形成の推進に関するソフト施策と留意点	「景観形成の推進方策」(ア行ア集)

第1回 枚方市景観懇話会 会議要録

日時	平成24年8月25日(土) 13:30~16:00
場所	枚方市役所 別館4階 第3委員会室
出席者	【会員】16名 【オブザーバー】 下村泰彦教授 (大阪府立大学 大学院)
内容	懇話会の設立 景観の現状の説明 講演会:「景観づくりについて」大阪府立大学 大学院 下村泰彦教授 その他
資料	次第 懇話会会員一覧 座席図 『枚方市景観懇話会 設置要領』 資料1 『枚方市景観懇話会』の開催方法について 資料2 「枚方市の景観の現状」 資料3 「景観発掘調査」のお願い 「枚方市都市景観基本計画」(冊子) 参考資料 「枚方市の景観の現状(A3)」 講演会資料 「景観づくりについて」 枚方市域マップ

【案件説明等】

懇話会の設立について、枚方市景観懇話会 設置要領の確認と開催内容・スケジュールの説明を事務局より行った。また、各グループでグループリーダーの選出を行った。

「枚方市の景観の現状」について、事務局より説明を行った。

オブザーバーに「景観づくりについて」というテーマで講演を行っていただいた。



第2回 枚方市景観懇話会 会議要録

日時	平成24年9月29日(土) 14:00~16:30
場所	ラポールひらかた 3階 研修室1
出席者	【会員】17名 【オブザーバー】 下村泰彦教授 (大阪府立大学 大学院)
内容	会議要録の確認 グループ討議 ・「景観発掘調査」の報告 ・意見交換、とりまとめ グループ発表 講評
資料	次第 懇話会会員一覧 座席図 『第1回枚方市景観懇話会 会議要録』 資料1:「本日の進め方」 ご意見用紙

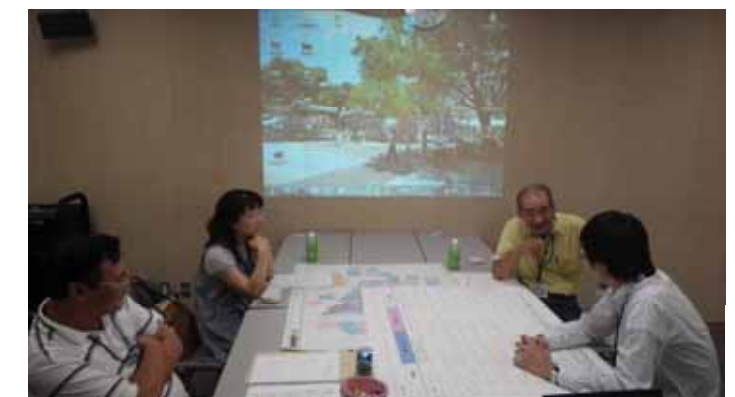
【説明等】

各グループで会員毎に「景観発掘調査」の報告を行い、グループ内で良い景観・悪い景観について意見交換ととりまとめを行った。

各グループでとりまとめた内容をグループリーダーが発表した。

オブザーバーにグループ発表全体の講評をしていただいた。

- ・景観資源の発掘は枚方市を特徴づける景観を抽出するために行った。
- ・景観基本計画では景観形成の方針を定め、詳細な内容は景観計画の中で考える。
- ・景観を考える場合、見る対象と見る場所の両方が大切である。



第3回 枚方市景観懇話会 会議要録

日時	平成24年10月27日(土) 13:30~16:00
場所	枚方市市民会館 1階 第1集会室
出席者	【会員】16名
内容	会議要録の確認 グループ討議 ・「景観発掘調査」結果の確認 ・景観類型別の景観形成の方針 ・意見交換、とりまとめ グループ発表
資料	次第 懇話会会員一覧 座席図 『第2回枚方市景観懇話会 会議要録』 資料1:「第3回懇話会の進め方」 資料2:「景観発掘調査結果」 資料3:「景観類型区分」 ご意見用紙

【説明等】

各グループ単位で「景観発掘調査」の結果の確認を行った。
各景観類型区分について、各自で「景観の問題点」と「景観形成の目標・方向性」を検討。
各景観類型区分の「景観の問題点」と「景観形成の目標・方向性」を各グループで取りまとめた。
各グループで取りまとめた内容をグループリーダーが発表した。



第4回 枚方市景観懇話会 会議要録

日時	平成24年11月17日(土) 12:30~17:00
場所	枚方市市民会館 1階 第3集会室
出席者	【会員】16名 【オブザーバー】下村泰彦教授 (大阪府立大学 大学院)
内容	会議要録の確認 グループ討議 ・モデル地区の景観現況のスライド上映 ・スライドをもとにした意見交換、意見抽出 ・「景観特性評価マップ」の整理 グループ発表 講評
資料	次第 懇話会会員一覧 座席図 『第3回枚方市景観懇話会 会議要録』 資料1:「本日の進め方」 資料2:「景観現況写真集」 ご意見用紙

【説明等】

雨天のためまち歩きを中止。事務局で事前に撮影したモデル地区の写真スライドの映写を行い、景観の現状を確認した。
スライド上映で確認した内容をもとに、良い景観、障害要素、眺望、景観特性などについて意見交換を行い、意見マップを作成した。
意見マップをもとに、重要な景観資源、眺望点・眺望対象、地点別景観特性などについて意見交換を行い、景観特性評価マップに取りまとめた。
各グループの意見交換の内容をグループリーダーが発表した。
オブザーバーからグループ発表の内容について講評をいただいた。
・同じ風景を見ても個人で評価が異なるため、意見交換によって評価を共有した。
・景観調査は良いところを伸ばす、悪いところを修正する等の方向性を考える段階。
・個々の景観の評価は様々であり、グループ討議で意見をまとめることが大切。



第5回 枚方市景観懇話会 会議要録

日時	平成24年12月22日(土) 13:30~16:30
場所	枚方市市民会館 1階 第3集会室
出席者	【会員】 19名 【オブザーバー】 下村泰彦教授 (大阪府立大学 大学院)
内容	会議要録の確認 グループ討議 ・「景観形成構想図」の検討・とりまとめ ・景観改善手法の検討 グループ発表 講評
資料	次第 懇話会会員一覧 座席図 『第4回枚方市景観懇話会 会議要録』 資料1:「本日の進め方」 資料2:「前回の検討結果」 資料3:「景観改善検討場所」 ご意見用紙

【説明等】

前回懇話会で出た意見を元に作成した「景観形成構想図(素案)」について、各グループで構想図の追加・修正点を検討した。

景観の改善が必要な箇所について、改善内容の検討を各グループで行った

グループの意見交換の内容をグループリーダー、各チーム代表者が発表した。

オブザーバーからグループ発表の内容について講評をいただいた。

- ・景観整備は「そこにあるべき景色、あったら良い景色」を守る、修復することが大切。
- ・景観整備の手法は多様であり、総合的に考えた方法で行うことが必要。
- ・住民と行政の協働が重要であり、住民は自分達で出来ることを考えることが必要。



第6回 枚方市景観懇話会 会議要録

日時	平成25年1月26日(土) 13:30~16:30
場所	枚方市市民会館 1階 第3集会室
出席者	【会員】 16名 【オブザーバー】 吉川真教授 (大阪工業大学)
内容	会議要録の確認 グループ討議・これまでの枚方市景観懇話会での検討結果の報告・確認 ・景観形成の推進に関するソフト対策の検討・とりまとめ グループ発表 講評 景観懇話会の検討結果の活かし方の説明
資料	次第、懇話会会員一覧、座席図 『第5回枚方市景観懇話会 会議要録』 資料1:「本日の進め方」 資料2:「第5回景観懇話会の意見集約」 資料3:「枚方市景観懇話会での検討結果」 枚方市懇話会意見の反映方法 景観法の活用に基づく景観条例の制定について 枚方市 景観懇話会 会員アンケート用紙1、2、ご意見用紙

【案件説明等】

過去の懇話会の検討結果を説明した。

各グループで景観形成の推進に関するソフト対策の検討を行った。

各グループの意見交換の内容をグループリーダーが発表した。

オブザーバーからグループ発表の内容について講評をいただいた。

懇話会意見の反映方法について説明を行い、会員の承認を得た。

景観は、市民の皆さんとやっていく協働(コラボレーション)が大事。

景観推進組織は、行政が裏で糸を引くような組織はダメ。市民サイドから出来上がっていく組織が必要。

「景観は教養ある大衆の存在が必要不可欠である。」市民レベルで景観を理解できる人材を増やし、景観形成のリーダーになってもらうことが望ましい。



2.1 市街地景観グループ
景観資源マップ

2.2 自然景観グループ
景観資源マップ

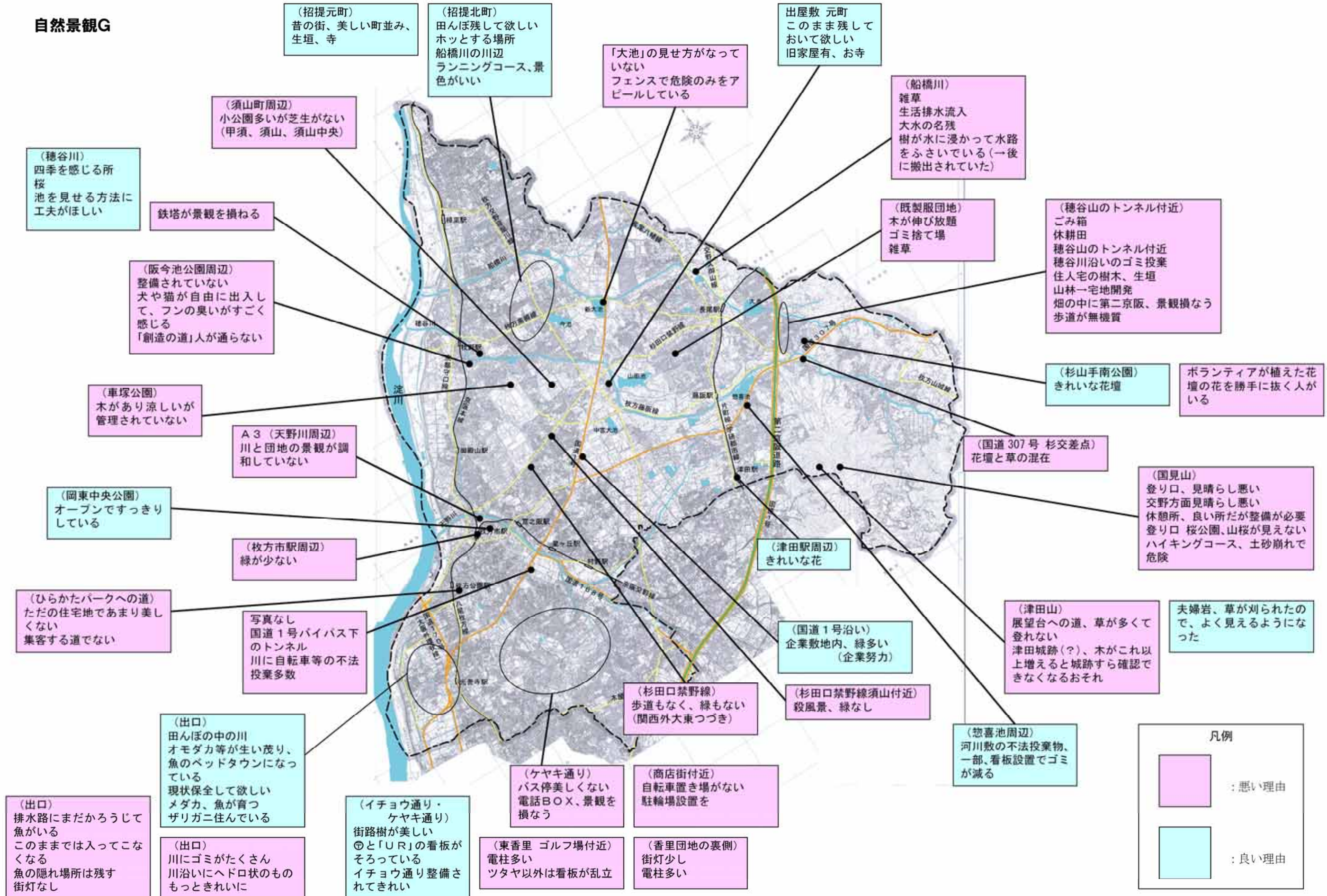
2.3 歴史景観グループ
景観資源マップ

2.1 市街地景観グループ

2.2 自然景観グループ

景観資源マップ

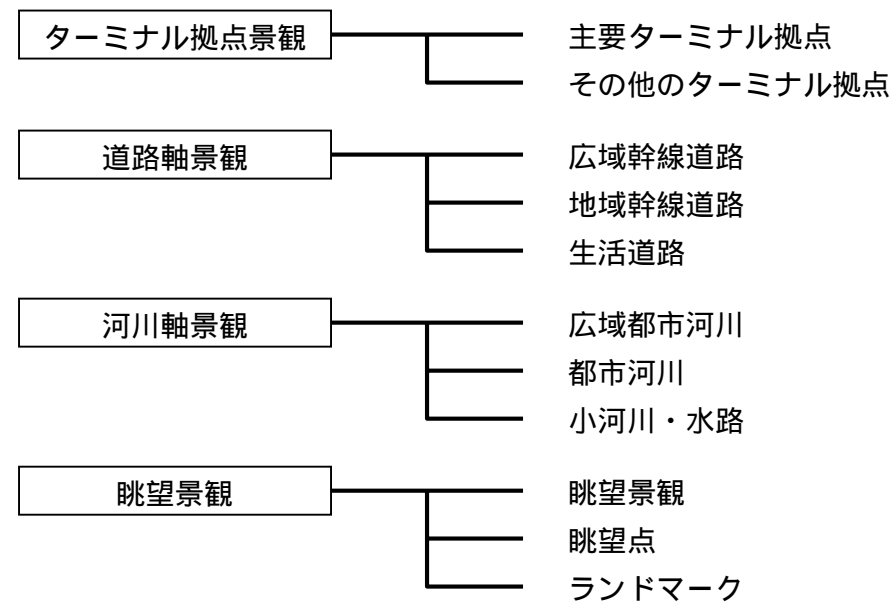
自然景観G



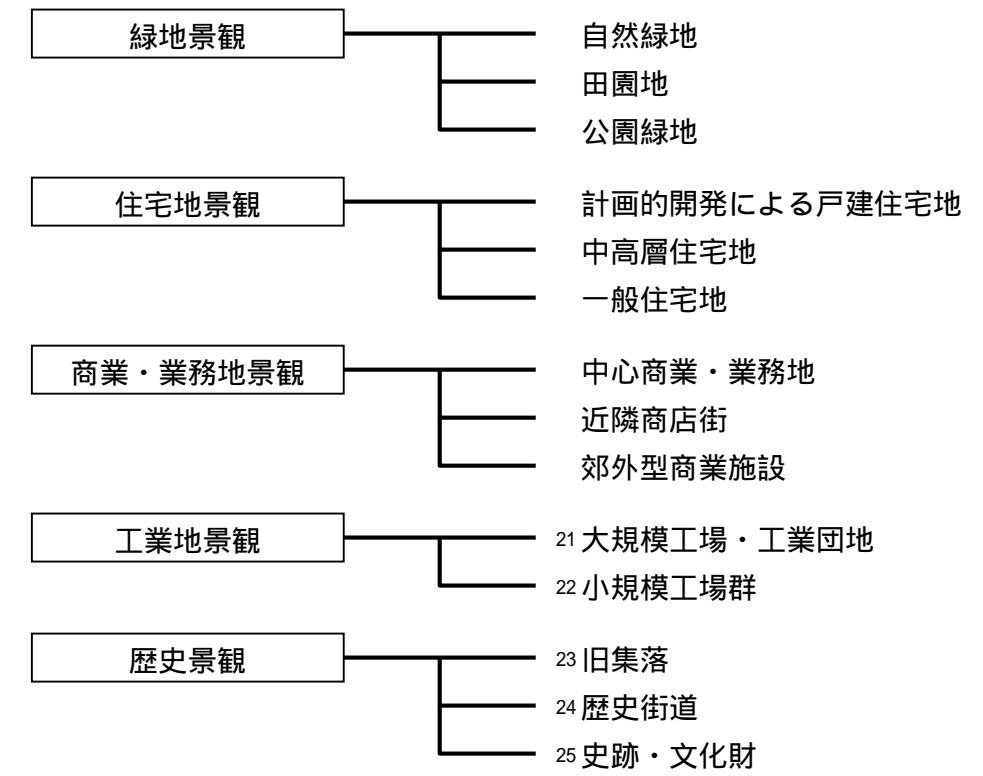
2.3 歴史景観グループ

枚方市域の景観の類型区分（全25区分：現行の枚方市都市景観基本計画による区分）

都市骨格



地区タイプ別



3. 景観類型区分毎の景観形成方針の検討結果

景観類型区分別の景観形成の方針

景観類型区分	会員意見	グループ発表
主要ターミナル 拠点景観	問題点 枚方市駅、北口と南口の差が大きい くずはモールまで屋根があると良い サンプラザ1号館、旧近鉄がロータリー全体を圧迫 駅前が閉鎖的である ターミナル駅であるが乗り継ぎの目的だけに利用されている コンクリート・タイルの広さより緑の面のほうが少ない（樟葉駅前） どの駅前も使いにくい設計になっているのは、その都度その都度の追加工事が繰り返されているためである	2010年代としての、主要駅としてのあるべき姿でない（枚方 1990年初期） 枚方市駅：枚方市の玄関口にふさわしい姿でない 樟葉駅：緑が少ない
	目標・方向性 「樟葉駅前」かなり整備されてきたが、駅が少ない夏場はモールの中に逃げ込むしかないので、植樹を推進して欲しい 「枚方駅前」川原町界限、近鉄跡地、市民会館跡地を含めた大規模開発が必要 京都・大阪の中間点の立地を活かしたオフィスの誘致等を進める 枚方駅の放置自転車、以前より少ない 枚方市駅を樟葉駅のように広く明るい駅前にそれぞれの駅前にふさわしい個性的な駅前開発基本計画がまず必要 各駅指定エリア内での電柱撤去・整備基準等 1Fの、特に銀行を2Fに移転してもらい、1Fにオープン店舗を並べて滞在型のターミナルにする バスターミナル2F4方のテラスに低木花壇を設け、ベンチを置く 駅前にシンボルツリーを植え、目線をそこに行かす	駅前開発基本計画の整備（駅周辺小売店） 駅にシンボルになるもの
その他のターミナル 拠点景観	問題点 駅周辺開発が事業者単独で行われている 工事期間が過ぎているのではないか（工事中が続いている） 住宅の高層化が進むので、現状は既存の一般住宅とバランスせず見苦しい	単発的な開発が多く総合性がない 工事が途中で放置
	目標・方向性 住宅高層化の基準を決めた法律が必要 「光善寺駅周辺」光善寺駅の高架化に合わせて駅前を商業地として再開発をして欲しい、空地が沢山待っている 「牧野駅」（東口？）空間が広い、周辺事業連動で良い線路・マンション、外壁の色を変え統一する 街路樹の大木を利用する	周辺事業を連動しやすくする基準の条例化 高架鉄道線・道路の外壁の配色に配慮

景観類型区分	会員意見	グループ発表
広域幹線道路景観	問題点 街に緑の木が少ない、また樹木の手入れがされていない 雑草、ゴミ	整備・メンテナンス不足 イメージの悪い阻害要素が多い
	目標・方向性 歩道幅、建物の道路からのさがり幅を決める 建築規制で、道路からの距離をとって指導して欲しい もっと緑化を推進し、その樹木の手入れもやるべき 国道の街路樹の規制するべき（低く） 車道と歩道の境に花壇を作る 畑側は土でなくコンクリートでOK	街路樹、看板の基準の制定 建物の道路からの距離をとる（例、フィレオひらかた） 街路樹のメンテナンス
地域幹線道路景観	問題点 歩道、自転車道等の整備がされていない道が多い 主要バス停の周辺の整備 ゴミ、雑草	歩道・自転車道の整備 放置自転車
	目標・方向性 道路幅員、歩道幅員を決める バスが通りやすい道（地域安全） 歩道・自転車道等の整備推進 自転車専用道の表示（車道内歩道内共に）	自転車専用道の設置 歩道・道路の幅員の拡幅
生活道路景観	問題点 共通、公共的な部分の整備が、特に道路景観が悪い	共通の課題なし
	目標・方向性 公共的な広域道路の整備が必要 ひらかたパーク活性化のためのまちおこし バス停デザインテーマ指定（エリアごと） 広い道に緑 建築物の高さ・デザイン規定 （住・商・工のエリアごと）	生活道路周辺に公園整備（人の集まる場づくり） 建築物を生活に密着するように規制

3. 景観類型区分毎の景観形成方針の検討結果

景観類型区分	会員意見	グループ発表
広域都市河川景観	問題点 隣接する市が整備されているとは恥ずかしいと思わないのか 広大な河川周りを美しくするべき 道路と歩道は別けるべき、河川は広いから ゴミ（特に大型）が放置されている 道にはみ出ている部分だけ雑草を抜けないのか（全部刈ると昆虫が減る）	歩道がなく、雑草が繁茂して危険
	目標・方向性 河川側に歩道を拡張して道路は車のみにする、そうすれば境界が歩道でワンクッションおかれ見栄えが良くなると思う 枚方の方は整備されているので牧野・樟葉の方もよろしくお願いします 放置犯人の追求と罰則 小型ゴミは啓蒙、学校教育、ボランティアによる掃除 河川周辺部の電柱・手すり・樹木等のデザインを考慮する	遊歩道整備等により、歩きやすい環境へ
都市河川景観	問題点 景観は損ねるが水辺の生物のためには多少の草は必要、識者と相談の上、整備して欲しい 河川は枚方の売りなので自然らしさが出るように整備してほしい 遊歩道が整備・整理されていない 河川堤防上の手すりライトが不備である 自然とマッチしない鉄塔	川が汚い 河川空間整備のデザインが悪い
	目標・方向性 堤防沿いの建物の高さ制限をして欲しい 都市河川の内・堤防ともに整備すべき ボランティア・自治会による草刈り・掃除が必要 市は積極的にPR・行事の企画・啓蒙活動 擁壁の素材、ガードレールの色を変えるだけでもだいぶ違うと思う（2色のペンキを混ぜると自然な良い色が出る） 河川は開けて景色が見れるのでなくすことだけはしないで下さい 河川堤防上の手すりライトを美しく安全なものに統一して整備する 鉄塔を木彫に変え調和させる	生態系を崩さない範囲でデザインに配慮
小河川・水路景観	問題点 汚れた水路等は生活水が入っているのが大きな要因だと考える 生活排水を用水路に流出させない 池周りのフェンスが何とも無粋な感じ 生活排水の流入は問題 小河川の管理不備 水路があるのは良いが子ども等の事故が起き易い	良い景観がフェンス等で阻害されている 生活排水による水質の悪化
	目標・方向性 安全は第一だと思うが、池も存在している以上存在している意味を与えてあげるべき フェンスの種類とか変えれば良くなるのでは 小さい河川やため池が多いのも枚方の魅力なので、見せ方を検討して欲しい ボランティアの活用を（生きものの調査会など） 水路の整備・清掃 生き物がいるとゴミを捨てる人も減る 下水道の早期安全化、早期着工・整備 水周りの手すり等は市全体で統一・考慮されるべき 小河川の管理・浄水化は清潔な町のイメージになる 子どもが落ちてもおぼれない程度の深さにする 下水路みたいな所は柵で防止	水質保全の為の啓発と下水道整備 生き物の生息の場としての河川を周知 河川の環境・景観の保全に関するモラルの向上と市・企業・ボランティア・学校・市民の協働

景観類型区分	会員意見	グループ発表
眺望景観	問題点 河川の親水スペースのデザインがもうひとつ美しくない 親水スペースまわり草が生え放題 淀川河川沿いの手すり等 淀川沿いの道（京都守口線）の車のスピード抑制の工夫 道路にペイント、ガードレールに工夫 道幅も狭いので遊歩道としては（堤防上の道路） ガードレールを外し景観を良くする 落書きはいろんな所で見られ、スプレーによるものが多いと思う 擁壁（護岸）もコンクリート仕上げではなく石材仕上げにして下さい 電柱やフェンスなど素材感が強調されすぎ	自然とのマッチ 美しい自然が落書きなどで阻害されている
	目標・方向性 河川親水空間周りの手すり等のデザイン性の統一 眺望点になる高台等の手すり等のデザインの統一 川別に調査し枚方市の売りになる部分を探す 草木の定期的な管理の徹底 淀川に沿った道路には低木の植木等で区切るべき 河川内堤防を整理すべき 眺望景観のそばの建物高さ制限 河川敷の自動車道の拡大 団地等は景観から必ず樹木を植えることを義務づける 交差点の信号機は低くして背の高い木で覆う らくがき犯人に対する罰則が必要 河川や田園は視界が開けているので、これ以上高層建築物が建たないようにして欲しい 建てるのなら木造建築で自然とマッチするもの ガードレール、電柱やフェンスなど自然とマッチする色にする（茶色とか）	落書きのない風景を作るための啓発・罰則規定が必要 堤防道路の景観を阻害するガードレールを撤去。車両を通行制限し、遊歩道化
眺望点	問題点 国見山周辺の自然が手付かずになっている ハイキング道の整備 眺望点としては整備が行きとどいていない 展望が悪い原因は草木の伸び放題	草木が伸び放題。眺望を阻害
	目標・方向性 国見山周辺の自然を季節毎に手入れする ハイキングコース、展望台への道を絞って手入れすべき 国見山の認知度UP きれいに整備して上りやすさをアピール 素人が出来る所はボランティアで行い、専門家が要る所は市の予算、ボランティアの募集 眺望を売りにするのなら、次に立て替えるときは高さを低くするべき（眺望点から半径 kmの地域限定とかで） 整備が急務 眺望点を売りにするのなら人が通って安全で、なおかつ借景をきれいにさせるようにする ハイキングコースの通路の定期点検と崩れているところは柵等で防止 眺望を考慮したマンションの許可基準の条例案作成	登りやすいハイキング道に 行政とボランティアが一体となって草刈などの管理を実施

3. 景観類型区分毎の景観形成方針の検討結果

景観類型区分	会員意見	グループ発表
ランドマーク景観	問題点 ひらかたパークへの進入アプローチの現状は市として考慮する必要がある 一般にあまり目に付かない所の名木・大木はランドマークになるのか くずはタワーマンション付近は余りに緑化がなくなっている くずはタワーシティの方が周りとは調和していない 突然ボーンと現れたようなイメージ 大木のメンテナンスが必要 日曜日に歩行者天国にしてパークへの道を華やかに 菊の展示、どうして旧街道だけ？ ひらかたパークへの道に置かせてもらう事は出来ないのか ランドマークの案内板がない 住宅地の中にポツとあるのでランドマークとしては弱い	くずはタワーシティは、殺伐としている。(緑の不足) アプローチになっていない(ひらパー進入路) 景観資源のPR不足
	目標・方向性 ひらかたパーク入口は市内唯一の公園入口として整備される必要がある 語り継ぐ歴史がある場所は市が整備してオープンする方向に検討する 名木はきちんと囲いをして管理する 枚方マルシェや五六市をひらかたパークへの道でも開催しては？ 京阪と一緒に都市開発してください 地図・案内板の設置 くずはタワーシティはランドマークとして成立している 市街地の、樟葉の象徴なので樟葉にはこれ以上高層は要らない 道路の色を変えてここには何か有名なものがありますというピクトグラム的なものが必要	ランドマークになる景観資源の周辺整備とPRの実施
自然緑地景観	問題点 市内のおすすめの自然景観は本当に自然が残っているのか？ 良いところならば、もっとPRしなければ 自然が宅地開発・土砂の採取等で無くなってきている所がある	
	目標・方向性 必要最小限のメンテナンスでより自然に近づく現状を保つべき 景観条例で防止 市内自然景観として整備して、もっと市民にPRすべきである 残す地域を明確にしていき、開発等の制御をする 緑の重要性のPR・啓蒙活動 残っている風景を残すために市をあげて啓蒙活動 これからも緑が残されて昔あった風景を継承して欲しい ある程度整備して、ある程度自然にまかす	緑の重要性 枚方の美しい自然景観を次世代に残す 残すべき場所を明確にして周知する

景観類型区分	会員意見	グループ発表
田園地景観	問題点 美しい田園地風景等がある場所が十分にPRされていない 市として休耕地等の利用方法を積極的に考えていないのでは 休耕地(田・畑)が放置され草が生い茂っている 第二京阪と自然は調和していないが第二京阪長尾・津田方面のランドマークはなりえると思う	雑草が伸び放題の休耕地が増えてくる 農業を使っている(黒い水が流れメダカがいなくなった)
	目標・方向性 休耕地を地主から借り上げ、希望者に耕してもらおう 市役所が窓口となる、斡旋する 第二京阪のディテールを工夫するか、側道に木を植えてワンクッションおく 休耕地がまだらに放置・点在されないように休耕地の活用を考えるべき(花畑等) 市民が街を汚さない運動が必要 休耕地は学校に貸し出し田植え～稲刈りまでの体験施設に 農業のため魚が減っています。水路を大切に農業を営んでほしいです 美しい田園地帯のPR	休耕地の活用(レンゲ畑等) 休耕地を子供の教育の場として学校で管理して活用する
公園緑地景観	問題点 整備不足の公園は何が足りないのか 市の公園等であれば定期的に手入れされているはずだが・・・ 地域の人が一番観ているところである 公園が整備されていないところがある 人が集まる工夫がされていない 緑があれば集まるわけではないので、開放的な公園づくりをして欲しい 公園に自然に入るには柵がじゃま 柵を木調に変えて自然にマッチさせる 整備されている公園とされていない公園と差がある 自然が多くある公園、あまりなく近代的な公園と表現の区別があるのでないかと思う	子どもが集まらない公園は遊具がないなど整備が不十分 利用しにくい公園が多くある
	目標・方向性 公園は樹木・芝生ともに整備し、景観からも生活からも避難地の見地からも、もっと活用すべき 自治会の活用、積極的な市の介入(花の種の無料配布等) 管理方法の明文化が必要 個々美しい景観があり、管理を正しく大切に 人気のない公園=子どもに不人気、遊具に工夫を外灯を増やして欲しい 菊人形じゃないですが主に菊だけを植えている公園とかがあったら枚方市の代表的な公園になると思う 枚方市には芸術的要素が沢山あるので逆に自然が少ないところにモニュメントをおいたりして、違うようその公園に方向転換すべき、すべて同じ公園では面白くない 有名な重森三玲さんの庭ももっと大きく取り上げて欲しい 摂南とか工大とかは建築科があるので興味のある学生は多いと思う、ただ知らないだけで・・・ 木が沢山生えているところは下の方も草を植えるとかもう少し自然の要素を入れても良いと思う 管理責任を明確にする きちっと計画を立てて整備、市民が町を汚さない運動 自治会の活用	色んな用途の公園づくり(アートの公園、彫刻、緊急時の避難場所) 入りやすい公園、明るい公園 地域ごとにそれぞれの特徴を活かした公園づくり

3. 景観類型区分毎の景観形成方針の検討結果

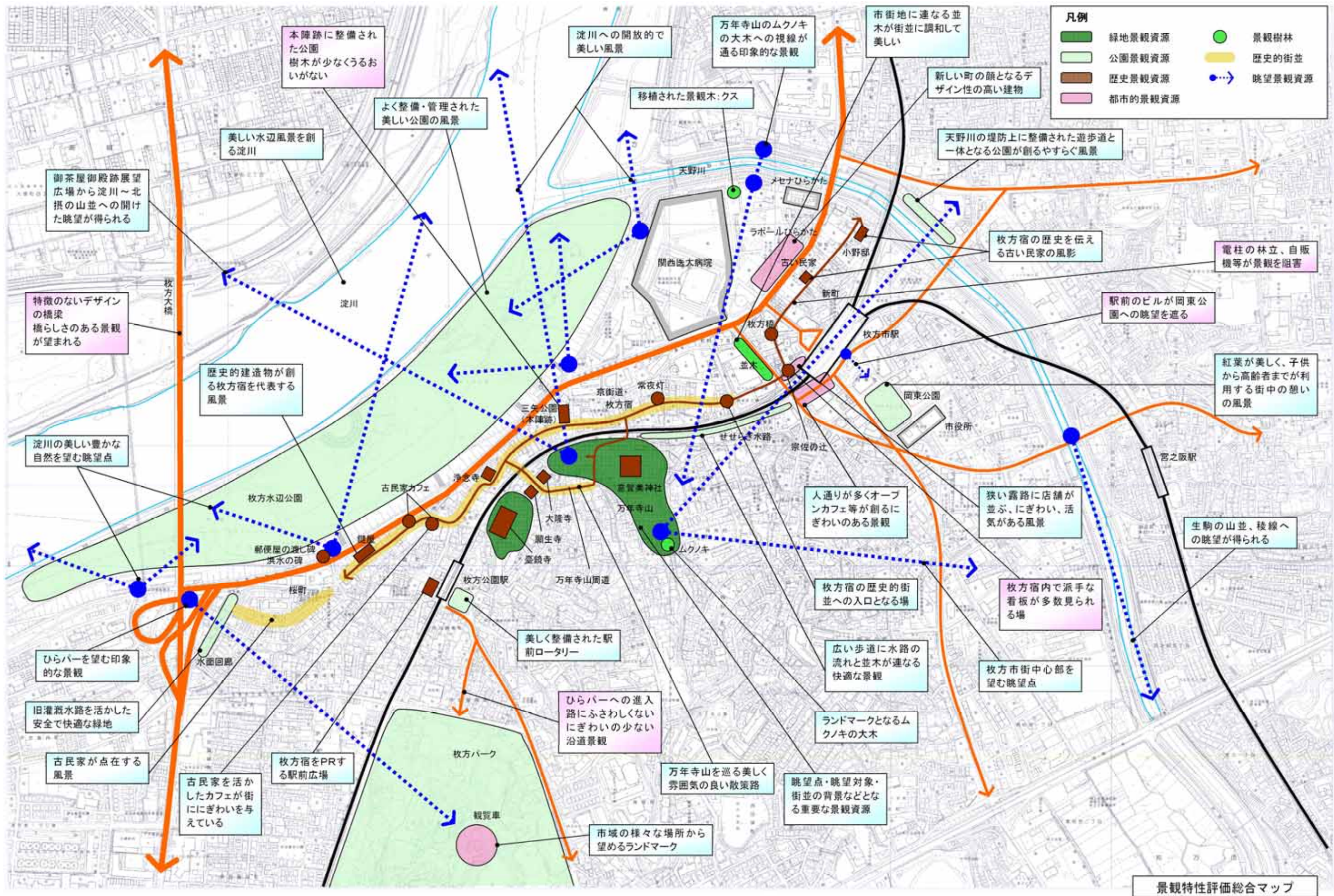
景観類型区分	会員意見		グループ発表
計画的開発 戸建住宅地景観	問題点	委員からの提示写真がなかったことからやむを得ないが、事務局からの追加写真では問題点の指摘の仕様が無い 整いすぎている、日本中新しい住宅地としてどこも似たような空気がする 排水が悪い 空き家が多く見られる 同じ様式の建物が続き、歩いていてつまらない	空き家が多く見られる 空き家は防犯上、景観上の配慮必要
	目標・方向性	子どもが遊べるような仕掛けがあると良いと思う 今後場所によっては市木(柳・桜)を出来るだけ採用して欲しい 庭などの木々を楽しく植えてもらう仕掛け 空き家時の外観配慮	市木(柳・桜)を採用して欲しい 子どもの遊べる仕掛け、公園等の整備 空き家の景観に配慮
中高層住宅地景観	問題点	市内各地に見られる風景であろうか、旧住宅地と新設マンションのアンバランス感覚はおおいがたい ビルの高さに合せた樹木を植える 高いビルは高木を植える(できれば柳や桜を) 昔ながらの団地にやすらぎを感じる 建物が道路に接近しすぎ 圧迫感がある	近くから見ると圧迫感がある 建物が道路に接近しすぎ 旧住宅地とアンバランスはおおいがたい
	目標・方向性	旧住宅とマッチしたデザイン等の建築の方向性を指導 団地の緑が良い 出来るだけ植えられた新しい木ではなくてその土地にある木を生かしてほしい 高いマンションは夜の風景等を考える 道路からセットバックし安全性を確保すると共に景観に配慮する	昔からある団地にやすらぎ感がある 星型団地残す方向で道路から建築物をセットバックして、歩道・緑道を整備 周辺の住宅との調和
一般住宅地景観	問題点	安全と景観の配慮 ガードレール・看板など美しくなると良いと思う 家が公道真実まで迫っているので植樹は難しいと思う、しかし公道部分を少しとって花壇をおく 各々開発者が異なったことから全体として景観が無視されたものと思われる	街路整備、開発指導等で行政内部の連携が不足
	目標・方向性	大きく育つ木がポイントがあれば日陰も出来てゆとりを感じる 市庁舎内でのコミュニケーションを良くして安全優先で景観も配慮する 今後の開発者においては既開発分の状況を考慮して設計をさせる方向性(調和のある開発)	フェンス等、市庁舎内でのコミュニケーションをはかり、安全優先 ガードレール・看板などに配慮 安全と景観への配慮 木がポイントになり花壇を置く
中心商業・業務地	問題点	流動人数と歩道の幅(圧迫感) 市周辺のビル建て替えの時、事業主の都合で行われている 注意してもなかなか美化が進まない	整備・美化等の不一致、不十分
	目標・方向性	もっと行政指導が必要 民活する前に市の方向性・条件を出す ラポールは福祉会館のイメージを表記する	市の方向性を示し、条例の制定や行政指導を行う
近隣商店街	問題点	放置自転車 自転車置き場等の必要整備がされていない	自転車置き場不足 (無料開放型が無い)
	目標・方向性	電柱撤去 都市計画の中に商店街の構築を明確に示して指導して欲しい 自転車置き場等の整備の推進 放置自転車の撤去(店等のリクエストで撤去してもらえよう) 子ども・シルバーが集う場所を市全域に拡大する 歩行者専用づくり	歩行者(特に子ども・シルバー)優先を考慮した商店街の構築 自転車置き場の整備
郊外型商業施設	問題点	看板が大きい 看板が大きすぎる 広告塔、又PRの看板が多すぎる	看板(大きい、多い、不統一)
	目標・方向性	PR塔や広告の規制が必要 広告のない枚方市を目指す 街路樹と街灯の設置をデザインよく 枚方バイパス時代の名残で、大きく高い看板が多い、これこそ景観条例で規制をかけていく 広域幹線沿いの建物建築基準(フォレオ、ラウンドワンが良い例?) 看板基準(大きさ、高さ)	建物建築基準に看板に関する内容追加(規制強化)

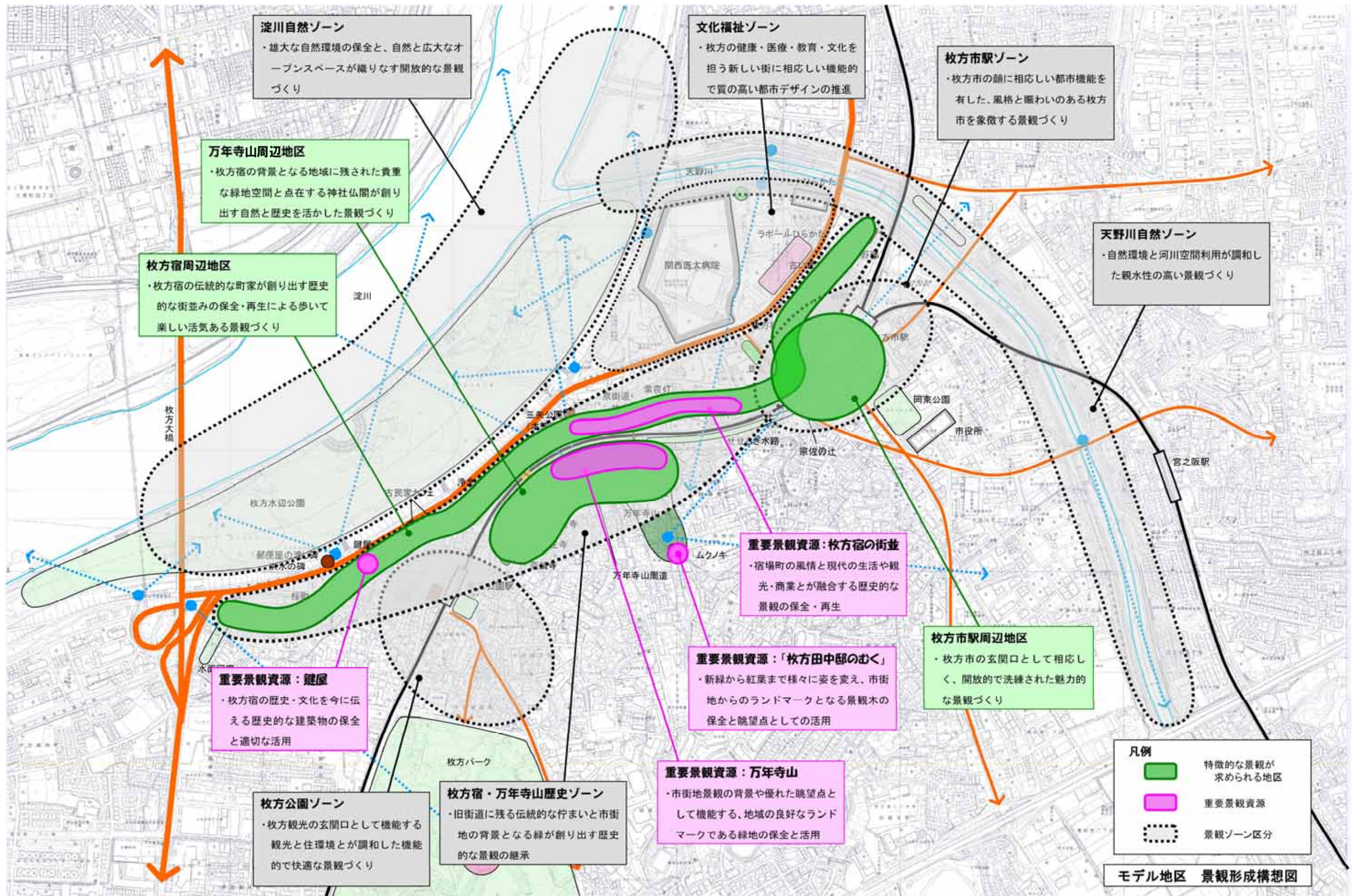
3. 景観類型区分毎の景観形成方針の検討結果

景観類型区分	会員意見	グループ発表
21 大規模工場・工業団地	問題点 許可条件の問題（景観を配慮） クボタ正門は両脇に植樹したらどうか	
	目標・方向性 全体として緑が多く思うので良しとする 公園や緑地パブリックアートなど地域に調和した中で アピールして欲しい ゴミ置き場はきちんとするよう指導して欲しい	公園・緑地に配慮して欲しい 両脇に植樹 緑地整備、敷地内のゴミ管理等の指導
22 小規模工場群	問題点 11月10日・11日に東海道シンポがあるので早急に対策を ゴミの山、箱型のゴミ捨て場に変える様に指導すべき 工場棟、ビル等が目立ち過ぎ 植樹をしてうるおいを出す 目立つところにゴミがあるので悲しい 景観は皆が、ゴミの配置等美しくすることが原則	暗いイメージ 東海道シンポで多くの来場者が来るので対応が必要
	目標・方向性 早いめに芽をつみとる 暗いイメージがある、活力を感じるというと思う 市の指導 外から見て何の工場かわかるように工夫してもらったら楽しい（看板など）	外から見て何の工場かわからないのでデザインで工夫して欲しい ゴミは市からの指導の強化
23 旧集落景観	問題点 古い街並みが残るにはどうしたら良いのでしょうか 右端の堤町、鍵屋付近を西に向けて撮ったがローアングルからは電線がじゃま 早急に電線の地中化を 景観は生き物、後々の世代まで残せるかが問題 あと20年もすればなくなってしまう風景 歯抜けで駐車場になっているところがある	街並みが駐車場で歯抜けな状況 20年もすればなくなりそう 景観は生きもの - 後々の世代に残していけるか
	目標・方向性 水路が生きる、潤いある感じで良いと思う 腰板に白壁、この風景はいつ見ても心がなごむ 条例にて存続を ルール作りが必要 農と、田んぼ・畑と生活が一緒になってほしいと思うので生活スタイルを残すことを考えて欲しい どうやってどこまで残せるか一度検討して欲しい 地域を指定するなどしてまとめて残して欲しい	地域を指定して残して欲しい 今の街並みを次の世代に引き継ぐルール作り 水路の生きる景観 腰板に白壁の状況を保存 電線の地中化

景観類型区分	会員意見	グループ発表
24 歴史街道景観	問題点 背景部分の広告塔は周囲景観を無視しており景観条例上規制の対象とすべき こういう風情のある所は逐次電線の地中化を図って欲しい けばけばしい色板は指導して白～グレー系統にするべき 看板などデザイン性の美しいものにして欲しい	看板が周辺の景観を無視して作られている
	目標・方向性 古い街、家並みを残すと良いと思う 個人の努力に頼っているので、持ち主の勉強会など考えて欲しい 建物の評価を考え、移築も考えつくって欲しい	持ち主の勉強会 古いまちなみが残ると良い 電線の地中化 けばけばしい看板に対しての指導 景観に配慮した標識、サイン整備
25 史跡・文化財	問題点 百済寺の周りの建物の前に植樹をお地蔵様など知らなかったの知れてよかった スポット部分の景観は今後の開発が問題 管理者があいまいなまま取り残される風景 大規模開発で歴史のおもかけをさかのぼることが出来ない 百済寺、駐車場の存続は絶対必要	開発者があいまいで取り残される風景 大規模開発で歴史をさかのぼれない 今後の開発が問題 個々の史跡は残っているが開発で周辺の面影が消えている
	目標・方向性 歴史的場所はこれを保存して欲しい 船橋の道祖神がひなびた風情をかもす、こういう風景は残したい 大木などは子どもたちに残すことが私たちの仕事だと思ふ 周囲 mの範囲の建築物の制限等 地形や物流に逆らわない 道路計画をたて新しく作るべきではない 地域の人が自主的に管理できる場であって欲しい もとある場所を動かさないで欲しい 新しく土地に来た人が歴史をたどれる場所であって欲しい 百済寺、駐車場敷地を早急に市として買収の方向性を打ち出すこと	史跡周辺の建築物の制限管理されている史跡のPR 歴史的場所は保存 地域の史跡や枚方の歴史を学べる場づくり 景観を阻害する建築物の規制

4. モデル地区の景観形成構想の検討結果





公共空間の景観改善アイデア

対 象	改善の方法（場所）
電線 電柱 受電設備	電線地中化 （新町、枚方公園駅前、枚方市駅南口東方道路）
	色の変更（枚方橋） 電柱の色を周辺の色に統一
	設置位置の工夫（京街道） 受電盤等の設備を電柱の陰などに設置
道路植栽	街路樹の整備 （ピオルネ前、枚方市駅南口東方道路、新町） 歩道空間に並木整備 電柱撤去跡への植栽
路面舗装	歩行者通路舗装の統一（御茶屋御殿） 石畳舗装
	舗装の美化化：車道・歩道 （枚方公園駅、枚方市駅南口東方道路） 意匠・素材の工夫（ex. ひらパー色、平板舗装）
公園・広場	施設の素材・デザインの統一 （御茶屋御殿、枚方公園駅前、枚方水辺公園、） 舗装（ex. 石張り） 照明柱（ex. 和風デザイン） 手摺・柵（ex. 木材） ベンチ（ex. 石材） 簡易便所（ex. 位置と外観デザイン）
	植栽による景観コントロール （御茶屋御殿、枚方公園駅前） 景観阻害要素の遮蔽・緩和（ex. マンションなど）

対 象	改善の方法（場所）
案内板、 サイン	見やすさの工夫（新町、枚方橋、御茶屋御殿） 見やすい大きさ、設置位置 舗装仕様によるサインを明示 サインを遮へいする施設の撤去
	素材・デザインの統一（御茶屋御殿） 案内板と他のストリートファニチャーのデザイン統一
ロータリー	修景緑化（枚方市駅南口ロータリー） 中央部の植栽
歩道橋	修景緑化（枚方市駅南口ロータリー） 歩道橋の橋面に花壇整備
	階段の集約（枚方市駅南口ロータリー） 利用者の少ない階段の撤去
橋梁	ランドマークとなるデザイン（淀川） つり橋等の視認性の高いデザインへの変更 （枚方大橋）
河道 高水敷	多自然化（天野川） 流れの緩急を残した整備 清掃活動
	遊歩道の整備（天野川） 遊歩道の延長
	美化（淀川、天野川） 除草 清掃

対 象	改善の方法（場所）
河川堤防	並木植栽（天野川）
	歩行空間の整備 手すり、安全柵の設置 街路樹の整備 街路灯の整備

商業施設・事業用地等の景観改善アイデア

対象	改善の方法（場所）
看板	色の統一（京街道） 看板と建物の色の統一（ex. 茶系の色）
	大きさ、設置位置の制限 （天野川、宗佐の辻、枚方橋、新町） 看板の位置・色・大きさの制限
	景観を阻害する看板の撤去 （枚方市駅南ロータリー、京街道） 万年寺山への眺望を阻害する看板の撤去 建物屋上の目立つ看板の撤去
	色の変更（京街道） 自販機の色を周辺に調和する茶色に統一
自販機	目隠しの設置（京街道） 格子状の目隠しの設置
	用途の制限（枚方市駅北ロータリー） 風俗店の撤去
商業施設等	壁面・屋根等の色の制限 （天野川、枚方公園駅前、ピオルネ前、枚方市駅南ロータリー、 枚方市駅北ロータリー、宗佐の辻、枚方橋） 色彩基準の設定 にぎわいのある色彩に統一（ex. ひらパー色） 沿道の建物の色の統一（ex. 茶系色等）
	上層階のスリム化（枚方市駅南ロータリー） 公開空地の誘導（建ぺい率の低減）

一般住宅の景観改善アイデア

対象	改善の方法（場所）
建物	外壁面の色の統一（新町） 壁面、シャッター、塀等の色の統一
	建物の高さ制限（新町） 周辺の建物と同程度の高さに制限
	色の配慮（新町） 周辺に調和する色彩に変更
塀、柵、フェンス	素材の変更（新町） ネットフェンスから板塀等へ変更
	撤去、又は縮小化（枚方橋） 視界を遮る塀の撤去

景観類型区分別の景観形成の方針

項目	個別のアイデア	意見要約・グループ発表	項目	個別のアイデア	意見要約・グループ発表
推進組織	<p>【市街地景観G】 行政からの支援を受けながら、NPO が中心となってボランティア・自治会・企業・団体等との調整を行う。 誰でも興味がわいたときやアイデアが出たときにいつでも提案できる受け皿をつくっておく。 景観ボランティア会を設立して主導的立場で推進する 景観は、私権の制限と公的利益のバランス上で成り立つので、NPO 法人が主体的に調整。町、街区単位の自治会主体で行うしかない。 市民・行政・事業者が一体となった運営組織をつくる。 景観に熱意と関心のある人に立候補してもらう。 地域は地域が守る意識が必要。 業者や行政だけに頼らず、市民参加のまちづくりが望ましい。 市民が住むのだから。</p>	<p>行政からの支援を受けながら、NPO が中心となってボランティア・自治会・企業・団体等との調整を行う。 誰でも興味がわいたときやアイデアが出たときにいつでも提案できる窓口を行政や NPO につくっておく。 NPO が調整役を担い具体的な活動は自治会が行う、市はバックアップする形式が良い。</p> 	<p>この景観懇話会の目的を「人材育成」に変えてする。 大学の中に景観研究会を設立(特に学生) 産学民官共同</p>		
	<p>【自然景観G】</p>  <p>・市役所内にテーマ別の委員会組織を創る。</p> <p>(長)市議会議員 (委員)市職員、事業者、自治会</p>  <p>・市役所に核となる組織を設け、関係する組織や団体を下部組織とする。</p> <p>市役所に景観推進課(チーム)を設置し、市民との意見交換のできる窓口とする。 地域別グループを年代別に構成する。 地域のチェックポイント項目(統一して)を定め定期的にチェック報告。 産学官の連携で景観に関する組織を立ち上げる。 主体は活動別に変えるべき。</p>	<p>主体はオール枚方で</p>  <p>景観の地区別懇話会 (長尾・津田)</p>	<p>リーダーの養成(講師呼ぶ) 意欲興味必要 結果、リーダーから周りに派生。 リーダー養成の適切な対象者を、行政・団体・地区等からの推薦、又は、興味のある人の公募で集めて任命して育てる。</p>		
	<p>【歴史景観G】 組織は協働で、「自然」「時間(歴史)」「デザイン」別の組織で全体の調和、地域らしさを出すこと。 景観に関して市民・行政・事業者・専門家の役割を明確にする。 子どもの団体、子ども会、女性の団体。 市が六大学との連携プレイの主導を。 専門性を持った人材で中核組織を作る。 目的明確に、ルール少し。 自分の住んでるところを大切に、日本・世界も視野に入れて。</p>	<p>目的をはっきりさせた上で市民・行政・事業者・専門家の役割を明確に。 六大学、子どもの団体、女性の団体 大学、小中学校、女性団体、NPO 等と連携し、若い人の活力を見出すことが重要。</p>	<p>若い人、今回の懇話会のメンバーが続けて学習する。 リーダーをつくっていく。 今回の懇話会メンバーがさらに学習する場を提供する。</p>		
人材育成	<p>【市街地景観G】 懇話会は、推進リーダーの育成には役立った。今後、意見聴取の名のもとに自由に議論する場を設けたらよい 人材育成というより、街の人の声を積極的に集め、音頭は市がとる。 この景観懇話会を継続する。 大学の中に景観研究会を設立(特に学生)</p>	<p>【自然景観G】 今回の様な地域別のリーダー養成。(5回くらい) 今回のメンバーもその一人。 リーダー(任命)、一般市民の景観講習会を定期的開設する。その中でグループをつくれたならば他市の見学、市内の良い・悪いところを見学する勉強会とする。 リーダー任命 講習会 景観地域アドバイザーの養成。 最初は建築系、都市系の専門分野の人に頼み、経験を積み誰でもいけるようにする。 人材 ・各コミュニティの推薦 ・自己申告 景観に対する考えを発信していき、人々と共有できれば協力者も集まりやすい。 専門講座を無料で開催。 ・森づくり ・防災 ・ボランティアリーダー とは</p>	<p>【歴史景観G】 市内の NPO 法人、中学校、高校、六大学の生徒会、学生自治会、自治体等へ広く呼びかける。 懇話会メンバー(現)の参画を促がすと共にそのスキルアップの為、大学とタイアップしてその資質を上げる。 懇話会のメンバーを核にして、広報でそれぞれのパートの人を募り行政がその場を提供し意見を吸い上げる組織をつくる。 養成のための会・セミナーをする。(大学の先生と一緒に)、懇話会を続ける。 人材育成は懇話会のような場を定期的にもち、景観意識を少しずつ市民に育成していく。 今回の懇話会は、スケジュール上の点もあったであろうが、いかにも行政指導で経過した。もっと自由な意見交換の場の保障を。 住んでいる人が住んでいるところの歴史を学ぶ。</p>		

6. 景観推進アイデアの検討結果

項目	個別のアイデア	意見要約・グループ発表
市民活動の支援	<p>【市街地景観G】 誰が、何の支援を求めているかつかむ。 人的支援 物的支援 財政的支援（寄付金・補助金）</p>	<p>誰が、何の支援を求めているかつかむ。HP等を活用する。 人的支援（ボランティア等） 物的支援（道具等） 財政的支援（寄付金・補助金）</p>
	<p>【自然景観G】 市内登録団体・市民サークル・グループからの活動における景観の意見の聴取。 広報ひらかたで市民活動の紹介。 花壇/畑/庭/手芸（作物の） 校区単位で活動内容を広く発表できる場を設ける。 勉強会・講義・見学会・討論会の開催準備、実行の支援体制を取るべき。 景観を保全することでできるイメージをビジュアル化すれば、小さいことでも積み重ねれば大きいことに繋がると思わせる。 自治会とタイアップし、清掃等用具の貸与・花の種の配布。 花壇に花を植えるボランティア 花に囲まれた道や河川敷になり遠くからでも美しい。</p>	<p>掃除用具の貸与（清掃関連） 勉強会・見学会 花（植栽）系、畑 etc... 活動しやすい内容を支援して市民活動を段階的に拡大。</p>
	<p>【歴史景観G】 市民の声に耳を傾けて、自治会・コミュニティー等を住民に呼びかけて新たにつくる。 住んでいる人の意識を高めるための政策。 小学生・中学生の意見をどう汲み上げるか。</p>	<p>小学生、中学生、住んでいる人、農業にたずさわる人の意見をくみ上げる仕組みが必要。 景観形成の視点、方向性を明確にすることが大事。</p>

項目	個別のアイデア	意見要約・グループ発表
市民参加活動	<p>【市街地景観G】 市民でわが町のお宝探しのイベントを定期的に行いその中でNo.1を決めるコンテスト。 高齢者が増えるのでシニアを活用してボランティアしてもらう。 景観先進国の勉強をもっとする。 景観を維持するためにはパトロールが必要。予算も必要。</p>	<p>高齢者が増えるのでシニアを市民活動に引き込むことが重要。 景観先進国の勉強をもっとする。 景観を維持するためにはパトロールが必要。予算も必要。 清掃活動等を1人で行いたい人もいるので無理強いはいらない。</p>
	<p>【自然景観G】 自治会への参加要請。もっと自治会（市民）を使う。 ゴミ拾い、清掃、地区を歩いて良い点・悪い点の発見。 1つ景観保全の完成系ができて見れば参加したくなると思う。 素敵な景観、望ましい景観等の写真大会・写生大会・展示会の開催。</p>	<p>清掃、ゴミ拾い、写真コンクール。 写生コンクール 子どもたちに枚方市の良い所を1つ選んでもらって絵を描いてもらう。 子どもが参加できる活動から市民に輪を広げる。</p>
	<p>【歴史景観G】 町内清掃、ゴミ拾いの場等で「ピラ・ポスター」で。（前提としてそれらの機会の場の情報提供） 一般市民に対し文化・歴史の共通意識を高める会をする。 モデル地区の定点観測をしていく。（撮影・ウォーキング調査） 街歩きを広報で募り、市民の意見をすい上げる。 淀川のワンドにはプラスチックボトルや廃品が流れ着き、ゴミだめになっている。行政と市でこれをきれいにするための人の募集を行う。（広報で） 枚方には関西医大をはじめ諸分野にわたり六つの大学がある。医者立場、外国人大学生の視点も意見に入れて景観修景に生かす。 市民と行政を対等に意見を。</p>	<p>街歩き、定点観測、学習の場。 留意点、市民と行政とが対等に意見を交換する場が必要。 待ち歩きや市内の定点観測を継続的に実施。 枚方市全体を景観形成の学習の場とする。</p>

6. 景観推進アイデアの検討結果

項目	個別のアイデア	意見要約・グループ発表
表彰・ 顕彰制度	<p>【市街地景観G】 美観コンテスト 自宅のまわりを競い合う 公表映像でネット投票を行い、表彰する。 表彰は具体事例を良く分かるようにしてオーバーなぐらい派手に行うべし。 景観でも1等級～6等級までとしたら、6等級が市民活動だと思う。1等級～2等級は行政が担当すべき。</p>	<p>美観コンテスト 自宅のまわりを競い合う 公表映像でネット投票を行い、表彰する。 表彰は具体事例を良く分かるようにしてオーバーなぐらい派手に行うべし。 景観でも1等級～6等級までとしたら、6等級が市民活動だと思う。1等級～2等級は行政が担当すべき。</p>
	<p>【自然景観G】 表彰制度の必要はいいが、景観地域50箇所くらいを決めて年1回市民投票する。 景観写真コンクール 「枚方景観100選」は面白い。 表彰はあるべき。切磋琢磨したほうが人間はやる気になるから。地区で表彰でよいと思う。 景観100選には入れれば嬉しい。それがもっと広範囲になればなお嬉しい。 活発に活動した組織、自治会、事業者、大学等を市長が表彰し広報でPR。</p>	<p>枚方景観(選 基準必要) 景観写真・写生コンクール(子ども参加) 地区別の写生コンクール、作品展覧会を行い地域景観に対する意識を向上させる。</p>
	<p>【歴史景観G】 美しい街角で商店街や自治会を取材、表彰する。 表彰は個人より地域がまちづくりをした場合に必要。 景観の修景完了時、その意見を言ったグループに対し市長表彰する。</p>	<p>個人より、商店街や自治会等の団体に対して表彰を行うのが良い。</p>

項目	個別のアイデア	意見要約・グループ発表
啓発・ 広報PR	<p>【市街地景観G】 広報PR ひらパーみたいな市民が誰でも知ってる市の愛称みたいな親しみわく 地域ごとの景観(八景以外)は広報でPR。 枚方八景のようなところは枚方全体の景観であるので市民からアイデアは聞くが行政主導で行う。 景観行政に関するページを必ず広報に連続的に記載する。 啓発・広報PRは、ネットで恥ずかしい姿・誇らしい姿を募集して、投票、公表しては。行政がすると問題なので、第3者がする。</p>	<p>啓発・広報PRは、ネットで恥ずかしい姿・誇らしい姿を募集して、投票、公表しては。行政がすると問題なので、第3者がする。 HPで良い景観、悪い景観を募集。良い景観に1つ星、2つ星等の等級を付けてPRする。 広報が不足しているのもっと広報誌等にとり上げる。</p>
	<p>【自然景観G】 月1回、景観の日を設けて地域で参加してもらう。 巡り、散策などを広報車にて広める。 今回使用した写真を市民が良く見れるところに展示。 市のホームページを使って枚方市の素敵な景観の写真と説明を載せる。 市のホームページに景観啓発PRをのせる。更新する。 景観マップ 景観活動の市民パレードを行う。 写真等でのビジュアル化 形成過程を写真でたどる まずは市民向けの情報発信。広報誌でも1面は景観関連にするべき。</p>	<p>月1回景観の日をつくる。 広報車などでめぐりなどを広める。(HPでもOK) HPのトップで景観の写真をアップ。</p>
	<p>【歴史景観G】 公園や汚れやすい場に定点カメラをつけ、市のHPなどで24時間公開する。 枚方の将来を担う子どもたちへの啓発教育を推進する。 市民に向けて広報で枚方八景巡りをし、多く市民声を聞く。 景観形成に向けてのシンポジウムの開催は有効。 景観は市民の共有財産であり活動は総合的表現という見方で広く広報。 子どもが生まれてここがふる里と感じられる街 広報で知らせる。 小学生の地域資源調査マップづくりとHPでの公開。 年に1回の景観を考える(チェック)ウィークをつくり(月間でも)見直すきっかけをもうける。</p>	<p>シンポジウムが有効である。 広報で知らせる。 小中学生による地域資源調査を行い、枚方市景観マップを作成して公開する。子どもたちの素直な目から見た枚方市の景観を把握。 年1回、景観チェックを行う。</p>

項目	個別のアイデア	意見要約・グループ発表
その他	<p>【市街地景観G】 景観は人との関わり合いの中で素晴らしいと思うところである。 人が集う活気ある場所を作り、維持する必要がある。 お客さんを招きたいようなコンセプト</p>	<p>お客さんを招きたいようなコンセプト 市街から客が来なくなる市・景観をつくる必要がある。</p>
	<p>【自然景観G】 市のポイント（例えば菊作り）を決めて、景観へのアピール。 耕作していない畑・田を市が借り上げ、市民農園として積極的に行う。 景観専用ポータルサイト、ブログ。 HP のトップページに景観 100 選に選ばれた写真をスライドショーしていく。 ボランティア連合。市民は必ず1つのボランティアに。 特にお願いしたい事。今回、モデル地区として検討した内容を他地区に水平展開してほしい。 今回は市駅周辺のみで長尾・津田その他にも対応すべき。</p>	<p>（市民）農園（休耕田）にレンゲ、コスモスを植える。 景観ポータルサイト、ブログ。 HP トップに景観写真を載せる。 市民は必ず1つのボランティアに。景観ボランティアもその1つ。 良い景観の写真を掲示板、HP等の様々なメディアで公開する。 景観懇話会を市内の他のさまざまな地区を対象に開催して市民の景観意識を高める。</p>
	<p>【歴史景観G】 行政が中心になって枚方は景観にうるさいと思われるように力を入れていく。 まず、市がどのような街づくりをするか熱い思いが必要。 景観は人間活動の総合的表現。市、行政の許認可・条例等に景観配慮の項目を入れることも必要。 景観形成は調和した暮らしやすい町づくりにある。時間をかけて育むことが必要。 古民家（庭）の良さ（暮らし、技術）勉強会を。実際の家を訪ね行う。 人として住みやすい住まいの環境。 団地再生について香里団地の歴史にかんがみ、新築される家・マンション・に規制をかける。今の建築条項では緑も景観も守れません。</p>	<p>景観は人間活動の総合的な表現であるとの意識でPRする。 香里団地の歴史・景観の視点からマンション建設等を規制する。 古民家の良さを見直して保全する。</p>